

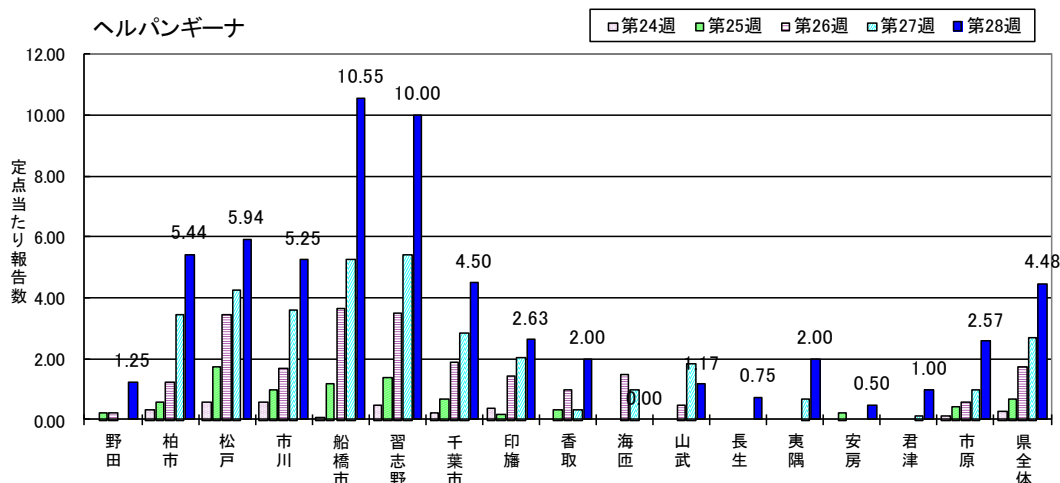
【今週の注目疾患】

ヘルパンギーナ

2016年28週の県全体の定点当たり報告数は、27週の2.70から増加し4.48となった。5週続けて増加し、夏季に乳幼児を中心に流行するため¹⁾²⁾、今後の発生状況に注意が必要である。

保健所別定点当たり報告数は、16保健所中14保健所管内で増加し、船橋市(10.55)、習志野(10.00)、松戸(5.94)、柏市(5.44)、市川(5.25)、千葉市(4.50)が多い。

年齢群別では、1歳が最も多く26.0%を占めていた。

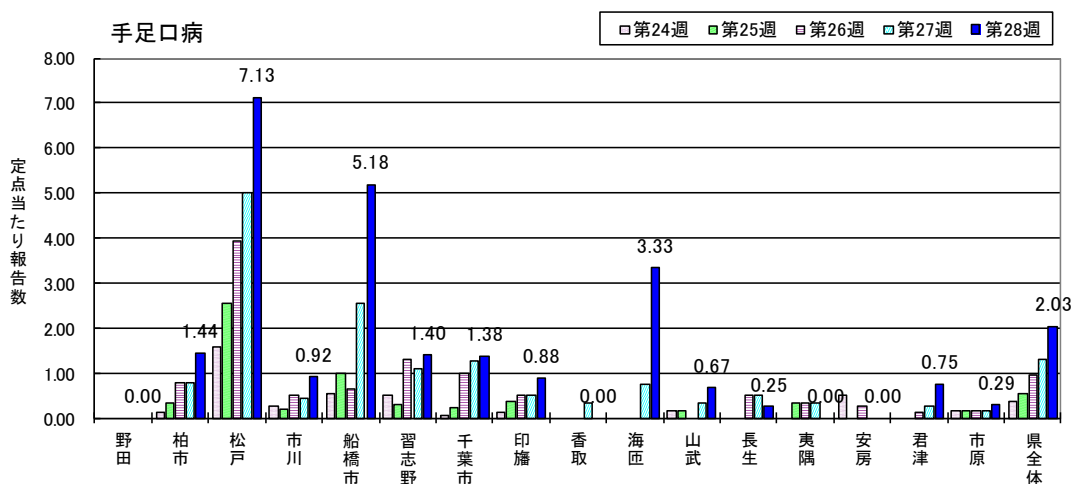


手足口病

2016年28週の県全体の定点当たり報告数は、27週の1.29から増加し2.03となった。8週続けて増加し、夏季に乳幼児を中心に流行するため¹⁾²⁾、今後の発生状況に注意が必要である。

保健所別定点当たり報告数は、16保健所中11保健所管内で増加し、松戸(7.13)、船橋市(5.18)、海匝(3.33)が多い。

年齢群別では、1歳が最も多く26.5%を占めていた。



参考

- 1) 2012年改訂版保育所における感染症対策ガイドライン(厚生労働省)
- 2) 学校において予防すべき感染症の解説(文部科学省)